

★★★輝く人たち★★★

スポーツ・文化面などで活躍した人、表彰を受けた人をご紹介します。

全国大会出場 おめでとう!!

第31回全国高等学校ソフト
ボール選抜大会
(3月16日)、鹿児島県

岩本 理映子さん

(文徳高校2年、一の宮中出身)

岩本 沙桜里さん

(文徳高校1年、一の宮中出身)

市原 美優さん

(文徳高校1年、一の宮中出身)

熊本県予選大会では、決勝
で強豪の八代東高を4・0
で破り初優勝。見事全国大
会の出場を決めました。

第38回全国高等学校選抜ソフト
テニス大会
(3月29日)、愛知県

森本 峻太さん

(文徳高校2年、一の宮中出身)

高木 悠太さん

(文徳高校1年、一の宮中出身)

団体として出場した九州高
校新人大会で第3位に入賞
し全国大会の出場権を獲得
しました。

第24回全国高等学校ボクシン
グ選抜大会兼JOCジュニア
オリンピックカップ
(3月21日)、山梨県

山部 建太郎さん

(阿蘇中央高校2年、一の宮中出身)

バンナム級に出場した山部
さん。初の全国選抜大会出場。

第35回全国高等学校柔道選手
権大会
(3月19日)、東京都

嶋田 菜緒子さん

(秀岳館高校2年、旧阿蘇北中出身)

八木 拓己さん

(福岡県・大牟田高校2年、一の宮中出身)

嶋田さんは、予選を兼ねた
県高校新人柔道大会で見事
優勝し、全国大会の切符を
掴みました。また、八木さ
んは、福岡県代表で団体戦
の選手として出場します。

なお、阿蘇中央高校からも
団体戦として出場するほか、
杉本祐海さん、矢吹みずほ
さん、土井雅子さん、上村
綾香さんが各階級で優勝し
同全国大会の出場を決めて
います。

みんなの広場

第40回県下少年柔道錬成大会兼 第38回熊日学童オリンピック柔道大会で優勝!

昨年12月に行われた標記大会で、女子の部に出場した
一の宮少年柔道クラブが見事優勝しました。

先鋒 嶋田沙緒里さん(内牧小6年)

中堅 上田玲巳さん(大分県久住小6年)

大将 酒井美奈さん(内牧小6年)

一の宮マリンス少年野球クラブ チームメイト募集!(体験入団案内)

「礼に始まり、礼に終わる」を基本理念に、今年で18
年目を迎えます。野球をする楽しみの中で、青少年育成、
仲間づくり、体力づくり及び野球の技術向上を目的に活動
を行っています。体験入団を機会に入団をご検討ください。
野球をしたい子どもの芽を伸ばしましょう!

●対象者 阿蘇郡市の小学生(6年生は経験者に限る)

●会費等 3年~6年 月3,000円

1年・2年 月2,000円

●練習場 一の宮社会教育センターグラウンド他

【体験入団のご案内】

●とき 3月20日(日) 午前10時~

●ところ 一の宮社会教育センターグラウンド

●問い合わせ 阿蘇スポーツ ☎22-0733

巖木千里さんに法務大臣から感謝状 人権擁護委員表彰



写真は左から佐藤市長、巖木さん、
中川支局長、藤本委員。

人権擁護委員を2期4年にわたり務めら
れ、1月31日をもって退任された巖木千里さ
ん(馬場)に法務大臣から感謝状が贈られま
した。

2月14日に市役所で行われた伝達式では、
中川そよ子熊本地方法務局大津支局長が「永
きにわたり市民の人権擁護に努められ、誠に
ありがとうございます」と感謝状を伝達。
佐藤市長からもその尽力に対し、感謝の言葉
が贈られました。

今月の Pick up!

昨年7月の豪雨災害から8ヶ月。市内各地で復興への取り組みが進んでいますが、観光分野においても阿蘇市に観光客を呼び込もうと、市では熊本県や阿蘇郡町村と連携するなどして、県内外で様々な取り組みを行っています。

●福岡市博多で阿蘇をPR 県主催『まるごと阿蘇観光PRイベント』

九州の観光拠点として多くの人々が訪れる福岡県博多区で1月25日、2月9日の両日開催し、阿蘇の温泉や食材をPRしました。イベントの目玉として企画された『指湯（阿蘇ハンド・スパ）』では、阿蘇の温泉を身近に感じることができるとあって、多くの観光客が手をお湯につけ温まっていました。

他にも阿蘇のだご汁とあか牛料理を振る舞うなど、阿蘇の魅力を大いにアピールできたイベントとなりました。



●東京・六本木のレストランで阿蘇市をPR

あか牛など阿蘇の食材を使った料理で、阿蘇市の認知度向上や製品の販路開拓などを目指す取り組み、六本木農園「阿蘇うまかもんフェア」を開催しました。

1月17日～19日の3日間、あか牛をメインとした料理3種類、デザート1種類をそれぞれ20食限定で提供。来店した方々のアンケートからは、「阿蘇の食を再び食べたい。阿蘇に行ってみたい。」と

～観光で阿蘇の復興を後押し～ 市内外で阿蘇の元気をPR。観光の可能性を探る取り組みも。

の意見が多数寄せられ、大きなPR効果がありました。また、シェフからも「今後、阿蘇の素材を使ってみよう」との感想が寄せられ、阿蘇の素材の素晴らしさを裏付けるものでした。



提供された料理のひとつ“あか牛のサーロイン醤油糎漬け香味焼～草原の香り～”

●女性一人旅を想定した「観光モニターツアー」を実施



年々増え続けている「一人旅」の中でも「女性」に着目したモニターツアーを1月21日・22日に実施し、東京

都在住の20代～50代の女性7名が参加しました。団体から個人へと旅行形態が変化する中で、受入れ態勢の課題や、阿蘇観光の可能性を探るのが狙い。参加者はスキのほうき作りやだご汁の調理体験、阿蘇山上などを観光し、フェイスブックなどのソーシャルネットワーキングサービスで発信する姿も見られました。

参加者の大半から「休みが不定期だし、一人旅は時間にしばられないから気楽。受入れ企画が増えればありがたい。」「自分だけのオリジナルの良いお土産ができた。阿蘇らしい小物のお土産になる。」などの意見があり、これらの意見を基に、新しい客層を開拓する試みとして模索していきます。

あなたのタックスアドバイザーとしてご活用ください！！

経済産業省認定 経営革新等支援機関(第一号)

 **山内ユリ子税理士事務所**

TEL:32-0703 FAX:32-3867

〒869-2301 阿蘇市内牧412-9



3月15日まで、土・日も営業しております

所得税／消費税／贈与税 確定申告

災害減免法・雑損控除など

お気軽にご相談ください！

会社設立

事業承継

税務全般

シーボルトの娘 おイネさんの辿った歴史の道をPR

愛媛県西予市長が阿蘇市を表敬訪問



「女医の道 おイネさんウォークⅢ」のイベントPRのため、愛媛県西予市長ら8名が2月7日、阿蘇市を表敬訪問されました。

このイベントは、幕末に日本を訪れた外国人医師シーボルトと日本人のおタキさんとの間に生まれた娘・おイネさんを顕彰するもので、長崎に生まれたおイネさんがシーボルトの高弟で現在の西予市で開業した医師・二宮敬作と共に旅する行程を実際に歩くものです。二宮敬作に西洋医学を学んだおイネさんは日本で最初の女医となりました。

イベントには西予市や長崎市の中学生ら約50名が参加し、一行は旧豊後街道を歩いて3月30日に阿蘇市に到着する予定です。

文化財を火災から守る！

国指定重要文化財阿蘇神社で消防訓練を実施



文化財防火デーに合わせ、国指定重要文化財の阿蘇神社で1月28日、第14回阿蘇神社消防訓練が実施され、消防署や地元消防団、阿蘇神社職員など約30人が参加しました。

訓練は夜間に拝殿付近で出火した想定で、まず神社職員による初期消火が行われた後、通報により駆けつけた消防隊及び消防団による本番さながらの放水訓練が実施されました。

この日は宮地小学校4年生が社会科の授業で訓練の様子を見学し、訓練終了後には消防隊員の指導により消火器を使用した消火活動を体験しました。
※そのほか霜宮神社でも訓練が行われています。

1ターン就労者と共に阿蘇をキレイに

北塚の不法投棄ゴミ回収ボランティア作業



森林整備などを行い地域活性化に取り組むNPO法人ふるさと創生（高宮今朝秀理事長）は2月13日、農村公園あびか横の北塚に不法に投棄されたゴミの回収ボランティアを行いました。

参加したのは、当法人会員のほか、1ターンで阿蘇地域に居住し林業などに携わる就労者など約15人。参加者らは、不法投棄された大量のゴミを前に驚いた様子でしたが、一つ一つゴミを回収しました。

今回、ボランティアを計画した同法人理事の山部博典さんは「活動を通して阿蘇の林業を知ってもらおうと同時に、阿蘇市の1ターン者の受け入れ態勢が整うきっかけになれば」と話されていました。

安全運転を心掛けて！

阿蘇地区高校卒業予定者交通安全研修会



衝突実験を見学する生徒たち。

阿蘇地区交通安全教育推進協議会（岩下哲三会長）は2月17日、阿蘇自動車学校で阿蘇中央高校の生徒を対象に交通安全研修会を開催しました。

これは、卒業を間近に控えた生徒に、交通事故の恐ろしさを実際に体験し、安全運転を心掛けてもらおうと同協議会が毎年開催しており今回で9回目。

講習では、ダミーの人形を使用した衝突実験や、巻き込み事故などを学習。講習を終えた生徒からは「社会人としての自覚をもって交通ルールを守りたい」などの意見がありました。阿蘇自動車学校によると、講習が始まって以来、受講者による大きな事故はなく一定の効果があるとのこと。

今月の Pick up!

世界文化遺産登録に向けて意識を高めよう ～阿蘇世界文化遺産ミニシンポジウム～

世界文化遺産登録に向けて地元の機運を高めようと2月10日、阿蘇プラザホテルにおいて「第3回阿蘇世界文化遺産ミニシンポジウム」が開催されました。これは阿蘇地域の市町村でつくる推進協議会が主催したもので、地域づくり団体や文化財関係者など約90名の参加がありました。

シンポジウムでは、まず、日本イコモス国内委員会副委員長でもある国土館大学岡田教授により「世界遺産をめぐる最近の状況と阿蘇の展望」と題した基調講演が行われ、地域住民の生業により形成されてきた「文化的景観」を高く評価する一方、まずは地元住民がその価値に気付くような取り組みが必要であると述べられました。

その後の地域住民を中心としたパネルディスカッションでは「あそびとじまん」と題した討論が行われ、NPO法人ASO 田園空間博物館理事長の阿部寛樹氏と県商工会青年部連合会副会長の宮本博史氏が登壇。「阿蘇の『人とひと』の繋がりが財産であり魅力である」「阿蘇に暮らす人々が阿蘇の魅力を知り阿蘇を好きになることが始まり」などの意見があがりました。



美しい歌声響き渡る

NPO法人心を伝える会による復興支援慰問



仮設住宅で暮らす住民を元気づけようと2月7日、高田仮設住宅に童謡デュオとして活躍する「みま～ゆ」さんが復興支援慰問に訪れました。

これは、韓国との交流事業を展開するNPO法人心を伝える会（沢柳則明会長）が企画し、企画に賛同した「みま～ゆ」さんが協力し実現したものです。

集会所に訪れた「みま～ゆ」は、童謡『ふるさと』や熊本のを綴った『火の国慕情』など数曲を披露。住民らは手拍子をたたきながら一緒に歌い楽しみました。また、マジシャンとして活躍する『TA-BO』によるマジックも披露されました。

なお、韓国の日本人学校の子どもや保護者からいただいた、義援金と書きのメッセージが贈られました。

西小園区でコミュニティセンターを新築

コミュニティ助成事業



地域社会の健全な発展を図ることを目的とした宝くじの助成金を活用し、西小園区がコミュニティセンターを新築しました。

このコミュニティ助成事業は、社会貢献広報事業費を財源として財団法人自治総合センターが助成を行うものです。

西小園区では、このコミュニティセンターを拠点として、コミュニティ活動が一層活発になると期待されます。

